

## 現状・課題

- ✓ 社会の変化や技術革新に対応し、教師としての資質・能力を継続的に高めることが求められている中、教員養成大学・学部、教職大学院が中心的な役割を果たし、教員養成・研修機能の高度化に取り組むことが必要。
- ✓ 多様な教職員集団へと転換が進む中、教員養成大学・学部卒業者に期待される役割を改めて捉え直し、特色あるカリキュラム展開を進めていくことが必要。
- ✓ 公立小中学校の採用者数の見直しについては、令和4年度頃まで現在と同程度の水準で推移し、その後減少していくことが予想されている。
- ✓ 教職大学院の全国的な整備が進み、定員総数も大幅に増加しているものの、近年の新規採用者数の増加やミドルリーダー層が少ない現職教員の年齢構成の影響等もあり、入学定員の増加に比して十分な志願者の増加が見られず、入学定員充足率については、現在約80%前後となっており、教職大学院を活用した教職の高度化の更なる推進が必要。

自らの役割や強みを踏まえた機能強化・高度化を促進する観点から、

学部と教職大学院との連携・接続、教職大学院を核とした教育委員会との連携、教員就職率の向上、組織・体制の見直し等を促進

## 取組の方向性と主な論点（例）

### 学部と教職大学院との連携・接続の推進

- 自らの強みとして、学習科学等の実証的な学問成果に基づく省察的実践を通じて学び続ける教師の育成に今後一層力を入れて取り組んでいくことが重要であり、理論と実践を往還させた省察力による学びのデザイン等を強みとする**教職大学院と学部との連携強化を推進**することとしてはどうか。
  - ・ 学部と教職大学院との**連携を促進するための方策**についてどのようなことが考えられるか。意欲と能力のある学生等を対象とした**教職大学院への進学を希望する者を対象としたコース等を設定**することについてどう考えるか。学部・教職大学院を通じた**在学年限の在り方**についてどう考えるか。

### 教育委員会と大学との連携強化の促進

- 新たな教師の学びの姿を実現していく上で、現場ニーズを踏まえた学部・教職大学院の機能強化・高度化を推進するとともに、教職を目指す学生を引き付け、教師としての就職を促すインセンティブを働かせる観点から、**教育委員会と大学との連携強化を促進**することとしてはどうか。
  - ・ 教育公務員特例法第22条の5に規定する協議会を効果的に活用し、**各地域において教育委員会と大学が必要な事項を協議し、共通理解の下で、連携を深めていく取組を促進していくための方策**についてどう考えるか。
  - ・ **学部段階においても教職経験を有する教員（実務家教員）の配置を促進**し、教職大学院における実務家教員を含め、**教育委員会等との人事交流を促進**することについてどう考えるか。その際、**教職大学院修了者をその中心的な対象者として位置づけ、早期に学校管理職を経験した後、実務家教員として教師養成に参画する等、教職大学院の学びを生かしたキャリアパスを設定していくこと**についてどう考えるか。
  - ・ **教職大学院での学びの機会をより多くの現職教員に提供**するとともに、高い学習意欲を持って学び続ける教師が学びを積み重ねることにより「**専修免許状**」や「**教職修士（専門職）**」の学位を取得しやすくするための**方策**についてどう考えるか。

### 教員就職率の向上、組織・体制等の見直し

- 高度職業人材としての教員採用ニーズが高まる中、**教員採用率の向上に資する取組を一層充実させる**ことが重要ではないか。今後の人口動態・教員採用需要等を踏まえ、**入学定員の見直しや大学間の連携、教職大学院の充実に向けた取組の一層推進**が重要ではないか。
  - ・ **各大学における取組を促進する方策**について、どのようなことが考えられるか。